

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 3 月 18 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '小・中学校振興事業' and '学校教育の充実'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要(事務事業の全体像), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about budgeting and educational environment.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段, ②対象, ③意図, ④活動指標, ⑤対象指標, ⑥成果指標. Includes data for '児童数の把握' and '小学校・中学校'.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing budget trends for 26, 27, 28, 29, and 30 years. Includes categories like 国庫支出金, 事業費計(A), 正規職員従事人数.

Table comparing 27年度事業費実績 and 28年度事業費予算. Includes items like 08 報償費, 11 需用費, 13 委託料.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content for 28, 29, and 30 years. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する.

事務事業名	小・中学校振興事業	事務事業No.	30103000208	所属課	学校教育課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 学校に配分する予算とは別に、学校教育課で一括管理する小学校振興事業関連予算について、合併前より引き続き実施してきた。契約事務・支払事務の効率化を考え、関係部署と事前に協議しながら予算管理をおこなっている。また、国・県の補助事業については、持続性のある補助事業を活用し、学習指導の機会と学習意欲の向上・学習内容の充実に努めている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 学校の予算科目や予算配分の均衡を図るため、市財政課と毎年協議している。小学校振興事業予算内において、学校で予算管理するもの、学校教育課において予算管理するものを区分し、予算執行事務の効率化を進めている。補助事業を活用して学年にあった学習メニューを設けて学習指導に力を入れている。教育予算の増額について、校長会や教職員組合などからの要望がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 小・中学校の教育振興に必要な予算管理を行うことができ、教育環境の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない 教育環境を整え、児童・生徒の学習意欲、教職員の指導方法改善を助ける支援は市の責務であり、将来を担う子どもたちの育成に必要である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 教育振興予算を整備することにより、児童・生徒の学習意欲、教職員の指導方法改善を推進することで、学校現場での成果向上が期待できる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <input type="checkbox"/> 影響無 教育環境を整え、児童・生徒の学習意欲、教職員の指導方法改善を助ける支援を行うことができなくなり、学校現場での成果向上が期待できなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費の削減余地はない。国・県の教育指導方針や学習指導要領等の改訂に伴い事業費の負担増も必要である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input type="checkbox"/> 公正・公平でない <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 児童・生徒の学習意欲、教職員の指導方法改善を助けるうえで、教育振興に必要な予算を整えることを目的としているため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	学校の予算配分の均衡を図るため、市財政課と毎年協議をして前年度の課題に対応している。振興事業予算内において、学校又は学校教育課で管理するものを区分し、予算執行事務の効率化を図っている。H27は小学校、H28は中学校で、学習指導要領改訂に伴う教科書改訂のため、教師用指導書・教科書の購入が必要のため事業費の増となっている。																		
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> </table>	成果	向上				維持		○		低下						削減	維持	増加
成果	向上																		
	維持			○															
	低下																		
		削減	維持	増加															
(6) 事務事業優先度評価結果																			
成果優先度評価結果 ⑥																			
コスト削減優先度評価結果 ⑧																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>